

## ARAI NEWS

鈴鹿の一周をGP500の最速ライダーよりも、さらに30秒以上も速く走り抜ける超高速バトル。それがモータースポーツの最高峰F-1の魅力です。このF-1に乗るドライバーは、世界中で35人しかいない超エリートです。その選ばれた35人の内、実に20名以上がアライを使用しています。F-1の世界でもアライは、なくてはならないものになってきたようです。ところで最近のように、F-1がブームになるにつれ、「F-1用ヘルメットは2輪とは違う特別なものを作っているのですか。」という質問を多く受けるようになりましたので、今回はアライの場合についてお答えします。



F-1で使われているのは「GP-2V」という4輪用モデルです。ただし、F-1用だからといって特別な製法で作られている訳ではありません。まず基本となる楕体についてですが、F-1用にはRX-7Vと同じcLc楕体が使われています。一般の2輪用と同じラインで流され、アライの全ての楕体が行われているように、成形部門と検査部門で2重に厚みがチェックされたのちに、市販品と区別することなくそのまま使用されています。また楕体と同様に安全性のポイントとなる裏面ライナーには、ラバイドμと同じ柔らかさを持つものが使用されています。これら基本的な安全性に関しましては、一般の2輪用と何ら変わりはありません。

サイズについても大半の選手は、ノーマルサイズそのままです。例えば89年の世界チャン

ピオン、アラン・プロスト選手は日本向けの「57-58」。世界一速い男の異名を持つナイジェル・マンセル選手は、輸出サイズの「L」。ウィリアムスのT・ブーツェン選手は日本向けの「81-82」。開幕戦で活躍したJ・アレジー選手は輸出サイズの「M」。といった具合です。かぶり心地はカーレース用ですから、楕体には異なる点もありますが、基本的にはGIGAやアストロロFのかぶり心地がそのまま生かされています。

一方、F-1では2輪にはない危険もつきまっています。そのもっとも大きなものは火の問題です。昨年、レース中に250キロのスピードでバリアーに激突し、そのまま炎に包まれてしまったクラッシュをご記憶の方もいらっしゃるでしょう。幸いドライバーは、レスキュー隊の迅速な活躍により、手に軽い火傷を負っただけで済みましたが、20秒もの燃焼火に包まれたドライバーが使用していたヘルメットもアライでした。F-1用では、こんなアクシデントに備えて、内装布地だけでなくヘリゴムに至るまで燃えにくい材質を使用し、シールドも炎で溶けないような3ミリ厚のものを使用しています。そして昨年のクラッシュで、もっとも効果を発揮したのが、強烈な衝



撃を受けても開くことのないシールドのロック機構でした。このシールドがしっかり機能したため、選手の顔面には火傷ひとつ典わずに済んだのです。このシールドロックも2輪用のGIGAやアストロロFやラバイドμにフィ



ードバックされています。

また、加速Gやコーナーの横Gなど強烈なGフォースに襲われるF-1ドライバーにとって、ヘルメットの重さは2輪のライダー以上に大きな問題です。しかしアライのF-1用は、2輪のレース用として販売されている製品と同レベルの高い安全性を保っているため、重くほ



ど軽いと言う訳ではありません。マイクやスピーカー等無縁装置も組み込まれているので、アストロロFよりも若干重たくなると言えば想像がつくでしょう。それを補っているのが、理想的な重量配分です。ヘルメットの重心をできる限り下にするにより、安全性を高く保ちながら首への負担を減少させています。2輪用での安全性と快適性を両立させるアライのノーハウがそのまま活用されているのです。

このようにF-1ドライバーの過半数が使用するアライのF-1用「GP-2V」は、皆さんが日頃お使いになられている2輪の市販用と同じ条件で製造され使用されています。これも、市販のヘルメットのままでレースに使用できないようなら、始めから市販しないというアライのポリシーの証しです。

## F-1ドライバー用ヘルメットとは

(株)アライヘルメット  
〒330 埼玉県大宮市東町2-12  
TEL(048)641-3825~7



●アフターサービスの窓口は品質管理課です。  
製品の専ら、お気軽にご相談ください。  
販通 TEL(048)645-3661